

あなたの会社の働き方をRPAで変える
 煩雑な作業はロボットにおまかせ。
 “頼れる助っ人”AutoMateが企業の働き方改革を支援します。

AutoMate



製品概要

少子高齢化が進む昨今、どの企業にも働き方改革が求められるようになりました。しかしそこでネックになるのが今なお業務の多くの部分を占める繰り返しの単調な作業です。こうした作業を自動化し、業務を大幅に効率化する手法として、いま注目を集めているのがRPA(=Robotic Process Automation)。その中でもおすすめしたいのが、海外で豊富な実績を持つAutoMateです。企業はAutoMateの活用により、ロボットに煩雑な業務を任せることで、かかる手間と時間を圧縮。人的リソースの有効活用を実現します。

特長

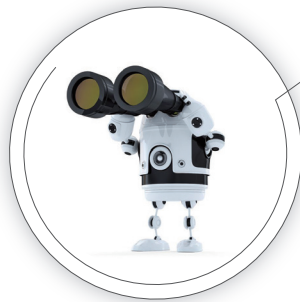
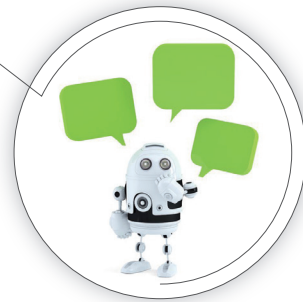


HTML解析、オブジェクト認識

AutoMateは、実行環境に依存せずに自動処理を構築することができます。画面の座標指定・キーボード打鍵による操作以外に、HTML解析によるWebページ認識、クライアントアプリケーションのオブジェクト分析によるパーツ指定などにより、実行環境の変化に影響を受けない処理を定義できます。定義作成にあたっては、WebページのHTMLソース解析やクライアントアプリケーションのオブジェクト分析などの煩雑な処理を人間が行う必要はなく、マウスのドラッグ&ドロップによる指定と自動解析により容易に設定できます。

70種類(700項目)の自動化機能

AutoMateは、人間による操作の自動化だけでなく、さまざまなインターフェースを通じて多様な自動処理を行うことができます。HTTP RequestによるWebサービスを利用した処理、ODBC接続によるデータベース操作、SMTP/POP/IMAPによるメール操作など、幅広い業務で自動処理を実現可能。また、PCやサーバーの操作だけでなく、仮想化基盤(VMWare, Hyper-v)、クラウド(Amazon Web Services, Azure)およびIBM製オフコン・汎用機(5250/3270)の操作にも対応しています。



自動起動トリガー

AutoMateは業務間連携が簡単で適用範囲も広いRPAです。自動処理の起動条件として、スケジュールによる起動だけでなく、特定フォルダを監視しファイル追加等を検知して起動したり、メールボックスを監視しメール受信を検知して起動したりなど、さまざまな自動処理の起動条件(トリガー)を提供しています。これら自動起動トリガーを活用することにより、多彩な業務やシステムと自動処理のリアルタイム連携ができます。

販売価格

①AutoMate Pro版	1台のパソコンでパソコン上のアプリを自動処理	ライセンス	699,000円	年額保守 144,000円
②AutoMate Premium版	1台のパソコンでパソコン上のアプリとクラウド、ホストやさまざまな外部サービスを自動処理	ライセンス	1,205,000円	年額保守 268,000円
③AutoMate Enterprise Server	複数の実行環境(エージェント)や開発環境(デベロッパ)を統合管理、権限管理	ライセンス	3,028,000円～	年額保守 706,000円～

商品番号 1001189 AutoMate